

佐伯有義 ありよし 神道學者、文學博士。慶應二年十月越中國生れ、昭和二十年九月二十五日歿（一八七一—一九四五）。明治二十年皇典講究所卒。
二十三年「キコト事類苑」編纂囑託。宮内省掌典、氣多神社宮司を経て、二十八年帝室制度調査局より「皇室諸令附式」起草囑託、四十五年には「六國史」校訂材料取調掛、大喪使事務官、翌年大禮使事務官を歴任。昭和十一年國學院大學教授。

著書に「勅語参考教の園」全二冊（校正、上巻・明治二十四年十二月一日、

下巻・二十四日）川半七・鈴木正之助・青山堂刊）、キコト事記上巻講

義」（明治四十二年四月二十日皇典講究所出版部）、キコト春滿大人

の學徳と偉業」（内題「キコト春滿大人の學徳と其の偉業」昭和十一年七月

一日）キコト春滿大人の百年記念會）、キコト宿禰信盛著「寶永四年白次記

並書勅集」（編、昭和十一年六月二十日）キコト春滿大人の百年記念會）、

「キコト春滿大人の創學校格注釋」（昭和十五年六月十日）キコト道精

義」（昭和十六年十一月十七日）廣文堂書店）、「我が國の神祇及び祭

祀と曆との關係」（昭和十八年一月）キコト道言、大政翼賛會勅諭局「曆法調

査資料」一）等。

